



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月14日

上場会社名 ボーソー油脂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2608 URL <http://www.boso.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 薫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 古川 勝彦 TEL 047-433-5551
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,267	1.9	△217	—	△218	—	△163	—
2019年3月期第3四半期	9,088	△12.4	△336	—	△345	—	△375	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △136百万円 (—%) 2019年3月期第3四半期 △417百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△110.22	—
2019年3月期第3四半期	△253.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	10,131	4,069	40.1
2019年3月期	10,481	4,200	40.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 4,066百万円 2019年3月期 4,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,950	9.1	△40	—	△90	—	△100	—	△67.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	1,606,000株	2019年3月期	1,606,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	125,140株	2019年3月期	125,073株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	1,480,866株	2019年3月期3Q	1,480,974株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用環境を背景に緩やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題など、先行き不透明な状況が続いております。

国内においても、消費税増税に加え、自然災害が相次いだことによる消費者心理への影響もあり、消費者の節約志向が続いております。

こうした中、当社グループでは、業務用食用油につきましては、工場の操業度向上を目指し特にナタネ油の積極的な販売活動を行ったことで販売数量、売上高ともに昨年を上回ったものの、原料費および物流費の上昇により、売上総利益では昨を下回る結果となりました。

家庭用食用油につきましては、こめ油の市場拡大が続いていることから、引き続き取扱店舗の増加に注力したことで、販売数量、売上高、売上総利益とも昨年を上回る結果となりました。

また、油粕製品である脱脂糠につきましては、こめ油生産に見合った適正数量の販売を安定的に継続しております。

全体としては、売上高、売上総利益ともに前年同期を上回りましたが、夏季の天候不順に伴う需要減少により工場稼働率が低迷したことから、累計としての利益向上は限定的なものとなりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における営業成績は、売上高92億67百万円（前年同四半期は90億88百万円）、営業損失2億17百万円（前年同四半期は営業損失3億36百万円）、経常損失2億18百万円（前年同四半期は経常損失3億45百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億63百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億75百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は50億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億28百万円減少いたしました。主な減少の要因は、現金及び預金が1億52百万円減少したことによるものであります。固定資産は50億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億21百万円減少いたしました。主な減少の要因は、投資その他の資産が2億49百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、101億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億50百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は36億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加いたしました。主な増加の要因は、未払法人税等が49百万円増加、短期借入金が79百万円増加したことによるものであり、主な減少の要因は、賞与引当金が66百万円減少したことによるものであります。固定負債は23億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億72百万円減少いたしました。主な減少の要因は、長期借入金が2億44百万円減少、繰延税金負債が1億10百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、60億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億19百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は40億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億31百万円減少いたしました。主な減少の要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失を1億63百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,484,636	1,331,950
受取手形及び売掛金	2,435,940	2,643,887
商品及び製品	534,280	438,759
仕掛品	176,027	159,220
原材料及び貯蔵品	369,833	398,643
その他	168,072	68,152
貸倒引当金	△2,737	△3,117
流動資産合計	5,166,053	5,037,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	745,930	955,226
機械装置及び運搬具（純額）	980,374	926,739
工具、器具及び備品（純額）	15,951	14,161
土地	1,973,993	1,973,993
リース資産（純額）	645,088	653,105
建設仮勘定	168,738	7,843
有形固定資産合計	4,530,077	4,531,070
無形固定資産	33,645	60,609
投資その他の資産		
投資有価証券	368,586	409,564
その他	384,049	92,276
貸倒引当金	△1,002	△2
投資その他の資産合計	751,634	501,838
固定資産合計	5,315,357	5,093,517
資産合計	10,481,410	10,131,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,704,578	1,733,880
短期借入金	1,304,080	1,383,230
未払法人税等	15,646	65,111
賞与引当金	99,748	33,238
その他	393,576	455,443
流動負債合計	3,517,629	3,670,904
固定負債		
長期借入金	928,040	683,380
退職給付に係る負債	584,794	541,284
役員退職慰労引当金	10,775	12,040
繰延税金負債	619,825	509,608
資産除去債務	3,392	3,420
リース債務	616,218	641,033
固定負債合計	2,763,046	2,390,767
負債合計	6,280,675	6,061,671
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,351,300	1,351,300
資本剰余金	814,596	814,596
利益剰余金	2,168,632	2,010,262
自己株式	△196,874	△196,965
株主資本合計	4,137,655	3,979,193
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,264	87,395
その他の包括利益累計額合計	60,264	87,395
非支配株主持分	2,815	2,753
純資産合計	4,200,735	4,069,342
負債純資産合計	10,481,410	10,131,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	9,088,917	9,267,693
売上原価	8,100,391	8,154,114
売上総利益	988,526	1,113,579
販売費及び一般管理費	1,324,998	1,331,149
営業損失(△)	△336,471	△217,570
営業外収益		
受取利息	24	126
受取配当金	10,592	9,913
受取手数料	2,325	3,260
受取保険金	6,972	41,956
貸倒引当金戻入額	7,300	8
その他	13,613	4,666
営業外収益合計	40,828	59,931
営業外費用		
支払利息	42,255	45,934
支払手数料	3,266	8,611
その他	3,851	6,289
営業外費用合計	49,372	60,835
経常損失(△)	△345,015	△218,474
特別利益		
投資有価証券売却益	3,645	-
特別利益合計	3,645	-
特別損失		
固定資産除却損	3,398	1,242
減損損失	3,759	-
特別損失合計	7,157	1,242
税金等調整前四半期純損失(△)	△348,527	△219,716
法人税、住民税及び事業税	10,258	60,816
法人税等調整額	15,941	△117,250
法人税等合計	26,200	△56,433
四半期純損失(△)	△374,727	△163,283
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	404	△61
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△375,131	△163,221

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△374,727	△163,283
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,241	27,131
その他の包括利益合計	△43,241	27,131
四半期包括利益	△417,968	△136,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△418,373	△136,090
非支配株主に係る四半期包括利益	404	△61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める油脂部門及びその副産物である油粕部門の製造及び販売事業の割合が、いずれも90%を超えているため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前連結会計年度に営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、また、当第3四半期連結累計期間において2億17百万円の営業損失、2億18百万円の経常損失及び1億63百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループとしては、当該状況を早期に改善・解消すべく、家庭用こめ油及び業務用こめ油の拡販により収益力の向上を図ると共に、生産体制については加工費の圧縮、効率化改善を行いコスト削減に努めることにより、業績黒字化を達成するよう取り組んでおります。これらの対処を的確に行うことにより、当該状況が改善される見込みであります。

また、当第3四半期連結会計期間末において現金及び預金13億31百万円を保有し、また運転資金の効率的な調達のために取引銀行とコミットメントライン契約を締結しており、必要な資金枠を確保していることから、資金面に支障はないと判断しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。